

法学専攻（修士課程）

(1) 授業科目表

法学研究科法学専攻修士課程における授業科目（講義、演習）と単位数は、次のとおりとする。  
講義及び演習は、1週1時間15週の授業をもって1単位とする。

(A)と(B)に分かれている科目は前期2単位と後期2単位で構成され、通年で履修することを基本とする。

研究演習（専修科目）は、1～2年次にわたって履修する。

それぞれの年次において、前期2単位と後期2単位で構成され、合計単位数が8単位となる。  
講義科目は、1・2年次に履修する。

科目群	授業科目名	担当者名	単位数
法 企 業 目 関 群 係	企業法研究 (A)	※ 美濃羽 正 康	2
	企業法研究 (B)		2
	民法研究 (A)	早 川 結 人	2
	民法研究 (B)		2
	知的財産法研究 (A)	※ 測 麻依子	2
	知的財産法研究 (B)		2
	家族法研究	近 藤 久 雄	2
	民事訴訟法研究	張 瑞 輝	2
	労働法研究 (A)	榊 原 嘉 明	2
公 法 関 係 科 目 群	憲法研究 (A)	水 島 玲 央	2
	憲法研究 (B)		2
	租税法研究Ⅱ (A)	※ 関 岡 誠 一	2
	租税法研究Ⅱ (B)		2
	租税法研究Ⅲ (A)	※ 宮 崎 清 幸	2
	租税法研究Ⅲ (B)	※ 山 田 麻 未	2
	刑事法研究 (A)	遠 山 圭 一	2
	刑事法研究 (B)		2
	国際法研究 (A)	※ ウミリデノブ・アリシエル	2
	国際法研究 (B)		2
	国際経済法研究 (A)	ウミリデノブ・アリシエル	2
	国際経済法研究 (B)		2
	国際政治学研究 (A)	定 形 衛	2
	国際政治学研究 (B)		2
	行政法研究 (A)	※ 市 橋 克 哉	2
	行政法研究 (B)		2
	情報法研究	萩 原 聡 央	2
	租税法基礎研究	服 部 由 美	2
	国際租税法研究	奥 川 哲 也	2
	組織再編税制研究	村 上 正 城	2
	法人税法研究	岸 野 悦 朗	2
所得税法研究	金 森 文 質	2	
資産税法研究	浅 野 洋	2	
消費税法研究	大 脇 光 明	2	
租税争訟法研究	松 山 清 人	2	
アジア法研究	※ 佐 藤 直 史	2	

科目群	授業科目名	担当者名	単位数
実習 科目群	インターンシップ (A)	指 導 教 員	2
	インターンシップ (B)		2
研 究 演 習 科 目 群	企業法研究	※ 美濃羽 正 康	8
	知的財産法研究	※ 測 麻依子	8
	民法研究	※ 濱 口 弘太郎	8
	租税法研究	※ 関 岡 誠 一	8
		※ 宮 崎 清 幸	
		※ 山 田 麻 未	
		石 川 祥 浩	
		奥 川 哲 也	
		金 森 文 質	
		杉 浦 勝 美	
		服 部 由 美	
	松 井 幹 夫		
	国際法研究	※ 富 岡 仁	8
		※ ウミリデノブ・アリシエル	8
行政法研究	※ 市 橋 克 哉	8	
アジア法研究	※ 佐 藤 直 史	8	

※専修科目担当者

## 企業法学専攻（博士後期課程）

### (1) 授業科目表

法学研究科企業法学専攻博士後期課程における授業科目は、次のとおりとする。

法学研究科企業法学専攻博士後期課程は、単位制を採らない。

授 業 科 目 名	担 当 者 名
企業法研究	※ 美濃羽 正 康
民法研究	開 講 せ ず
消費者法研究	開 講 せ ず
国際取引法研究	開 講 せ ず
経済法研究	開 講 せ ず
租税法研究Ⅰ	開 講 せ ず
租税法研究Ⅱ	※ 関 岡 誠 一
国際法研究	※ 富 岡 仁
国際経済法研究	※ 佐 分 晴 夫
国際政治学研究	※ 定 形 衛
行政法研究	※ 市 橋 克 哉
アジア法研究	※ 佐 藤 直 史

※専修科目担当者

## 会計学専攻（博士前期課程）

### (1) 授業科目表

会計学研究科会計学専攻博士前期課程における授業科目（講義、演習）と単位数は、次のとおりとする。

講義及び演習は、1週1時間15週の授業をもって1単位とする。

(A)と(B)に分かれている科目は前期2単位と後期2単位で構成され、通年で履修することを基本とする。

会計学研究科（専修科目）は、1～2年次にわたって履修する。

それぞれの年次において、前期2単位と後期2単位で構成され、合計単位数が8単位となる。

講義科目は、1・2年次に履修する。

科目群	授業科目名	担当者名	単位数
基 幹 科 目	財務会計論研究（A）	※ 佐藤豊和	2
	財務会計論研究（B）		2
	管理会計論研究（A）	中垣昇	2
	管理会計論研究（B）		2
	現代会計論研究（A）	※ 荒鹿善之	2
	現代会計論研究（B）		2
	税務会計研究（A）	永田千香	2
	税務会計研究（B）		2
	企業法会計論研究（A）	※ 佐藤敏昭	2
	企業法会計論研究（B）		2
	企業法研究（A）	—	2
	企業法研究（B）		2
展 開 科 目	管理会計特殊研究（A）	宮城厚志	2
	管理会計特殊研究（B）		2
	財務諸表論特殊研究（A）	友杉芳正	2
	財務諸表論特殊研究（B）		2
	監査論特殊研究（A）	友杉芳正	2
	監査論特殊研究（B）		2
	監査役監査論特殊研究	佐藤敏昭	2
	企業会計法特殊研究	尾崎安央	2
	財政学研究（A）	※ 片山和希	2
財政学研究（B）	2		
関 連 科 目	経営財務論研究（A）	中垣昇	2
	経営財務論研究（B）		2
	金融論研究（A）	※ 橋本理博	2
	金融論研究（B）		2
	経営戦略論研究（A）	※ 萩原俊彦	2
	経営戦略論研究（B）		2
	国際経済論研究（A）	※ 佐藤純恵	2
	国際経済論研究（B）		2
	中小企業論研究（A）	開講せず	2
	中小企業論研究（B）		2
	証券市場論研究（A）	野村重明	2
	証券市場研究論（B）		2
研究演習科目	会計学特別研究	専修科目担当者	8
実 習 科 目	インターンシップ（A）	指導教員	2
	インターンシップ（B）		2

※専修科目担当者

- ② リサーチ・ペーパーの様式については以下の点に留意すること。
- ア. 用紙は、A4版白色印刷用紙とする。
  - イ. リサーチ・ペーパーの文字数は、1本につき10,000字(英文6,000 words)程度とする。
  - ウ. 表紙は名駅サテライトキャンパス事務室に備えてある所定の用紙を用い、テーマ、指導教員名、学生番号及び氏名を記入する。
- ③ リサーチ・ペーパーの審査は、原則として指導教員が行い、その結果を研究科委員会に報告し、研究科委員会は、学位を授与すべきか否かを審議決定する。
- ④ 研究科長は、研究科委員会の学位の授与についての判定を学長に報告しなければならない。

#### 4) 学位の授与

- ① 学長は、研究科長の報告に基づいて学位を授与する。
- ② 修士の学位記は、学位規程様式第1及び様式第2による。

### 会計学専攻（博士後期課程）

#### (1) 授業科目表

会計学研究科会計学専攻博士後期課程における授業科目は、次のとおりとする。

会計学特別研究（専修科目）は、1～3年次にわたって履修する。

講義科目は、1・2・3年次に履修する。

科目区分	授業科目名	担当者名	単位数
専門基幹科目	国際財務会計研究	開 講 せ ず	2
	財務諸表論研究	開 講 せ ず	2
	管理会計研究	中 垣 昇	2
	税務会計研究	開 講 せ ず	2
	企業法研究	開 講 せ ず	2
専門展開科目	会計学原理	開 講 せ ず	2
	財務会計理論研究	開 講 せ ず	2
	監査研究	友 杉 芳 正	2
	企業法会計研究	※ 佐 藤 敏 昭	2
	財政学研究	※ 片 山 和 希	2
	租税法研究	開 講 せ ず	2
専門応用科目	経営財務論研究	中 垣 昇	2
	金融論研究	※ 橋 本 理 博	2
	経営管理論研究	開 講 せ ず	2
	経営戦略論研究	※ 萩 原 俊 彦	2
	国際経済論研究	※ 佐 藤 純 恵	2
	経済政策論研究	開 講 せ ず	2
研究演習科目	会計学特別研究	専修科目担当者	12

# 〔幼児保育学専攻〕

## (1) 授業科目表

- 1) 人間生活科学研究科幼児保育学専攻修士課程における授業科目と単位数は、次の通りとする（別表－1）。
- 2) 授業科目のうち、基礎科目は1年次に履修するが、基本科目は1年次および2年次に、実践科目は1・2年次に履修する。また、研究科目は、1年次から2年次にわたって履修する。

別表－1 教育課程及び担当教員

科目区分	授業科目の名称	単位数		専修免許		授業形態	担当者名
		必修	選択	幼稚園	小学校		
基礎科目	保育学研究	2		○		講義	飯田幸恵
	教育学研究		2	○	○	講義	望月 彰
基本科目	保育内容方法研究		2	○		講義	飯田幸恵・長江美津子
	表現文化研究		2	○		講義	秋田 郁・塚本敏浩 久我アレキサンデル
	教育課程・方法研究		2	○	○	講義	田中秀佳
	子ども福祉学研究		2	○	○	講義	関谷みのぶ
	教育心理学研究		2	○	○	講義	多川則子・楯 誠
	発達心理学研究		2	○	○	講義	多川則子
	カウンセリング研究		2	○	○	講義	家接哲次
	発達・教育評価研究		2	○	○	講義	家接哲次・楯 誠
	相談援助研究		2	○	○	講義	家接哲次
	障害児研究		2	○	○	講義	楯 誠
	生徒指導研究		2		○	講義	家接哲次
	子ども精神医学研究		2	○	○	講義	吉川 徹
	教科教育法研究（国語）		2		○	講義	加藤 昇
	教科教育法研究（算数）		2		○	講義	廣瀬隆司
	教科教育法研究（理科）		2		○	講義	日比野博
	教科教育法研究（社会）		2		○	講義	前原宏一
	教科教育法研究（図画工作）		2		○	講義	塚本敏浩
	教科教育法研究（音楽）		2		○	講義	秋田 郁
教科教育法研究（体育）		2		○	講義	久我アレキサンデル	

科目区分	授業科目の名称	単位数		専修免許		授業形態	担当者名
		必修	選択	幼稚園	小学校		
実践科目	臨床事例研究		2	○	○	演習	家接哲次・楯 誠
	保育学フィールド研究		2	○		実験・実習	多川則子・飯田幸恵 関谷みのぶ
	小学校実践研究		2		○		田中秀佳・塚本敏浩
研究科目	幼児保育学特別研究	8				演習	家接哲次・楯 誠 望月 彰

3) 講義及び演習は、15時間から30時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1単位とする。また、実験・実習及び実技は、30時間から45時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1単位とする。

## (2) 履修方法

1) 修士課程の修了の要件は、原則として2年以上在学して、別表-2の修了要件に伴い、必修及び選択科目を合わせて30単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表-2 修了要件及び履修方法

修了要件	必修	選択	修了に必要な単位	備考
	基礎科目	2	-	2単位
基本科目	-	18	18単位以上	
実践科目	-	2	2単位	3科目から1科目を選択必修
研究科目	8	-	8単位	
合計	10	20	30単位以上	

履修方法  
修了のためには、上記教育課程の授業科目から修了要件に従い、必修及び選択科目を合わせて30単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。

2) 研究科目を担当する教員を「指導教員」とし、授業科目の選択、論文の作成、研究一般についての指導を受ける。なお、①各種提出物については、締め切りを守り提出すること。②特別研究(8単位)は「デザイン発表会」・「中間発表会」・「論文/研究成果発表会」を含めて総合的に評価する。

3) 研究科目(幼児保育学特別研究)は、別表-3(修士論文を履修・提出する場合)及び別表-4(課題研究を履修・提出する場合)のスケジュールにしたがって1年次から2年次にわたって進められる。

## 〔栄養管理学専攻〕

### (1) 授業科目表

- 1) 人間生活科学研究科栄養管理学専攻修士課程における授業科目と単位数は、次の通りとする（別表－1）。
- 2) 授業科目のうち、基礎科目は1年次に履修するが、基本科目は1年次および2年次に、実践科目は1・2年次に履修する。また、研究科目は、1年次から2年次にわたって履修する。

別表－1 教育課程及び担当教員

科目区分	授業科目名	授業形態	科目担当者名	単位数	
				必修	選択
基礎科目	栄養管理研究	講義	柴田 清, 今城安喜子, 太田和徳, 早川麻理子, 持丸由香, 東條 正	2	
基本科目	公衆衛生学研究	講義	柴田 清		2
	栄養生化学研究	講義	東條 正		2
	基礎医学研究	講義	黒川淳一		2
	臨床医学研究	講義	黒川淳一		2
	栄養生理学研究	講義	澤田康之		2
	食品機能研究	講義	太田和徳		2
	食品衛生研究	講義	山田貴史		2
	調理学研究	講義	持丸由香		2
	栄養学研究	講義			2
	栄養教育学研究	講義	早川麻理子, 持丸由香		2
	臨床栄養学研究	講義	早川麻理子		2
	公衆栄養学研究	講義			2
	給食経営管理研究	講義	今城安喜子		2
実践科目	栄養管理実践研究	演習	今城安喜子, 早川麻理子, 持丸由香		2
	栄養管理実験研究	実験・実習	柴田 清, 太田和徳, 澤田康之, 山田貴史, 東條 正		2
研究科目	栄養管理特別研究	演習	太田和徳, 黒川淳一, 柴田 清, 持丸由香	8	
関する職科に	食育実践特論	講義	今城安喜子		2
	学校栄養教育特論	講義	早川麻理子, 倉橋伸子		2
	学校栄養教育論演習	講義	早川麻理子, 倉橋伸子		2



3) 講義及び演習は、15 時間から 30 時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1単位とする。また、実験・実習及び実技は、30 時間から 45 時間までの範囲で、本大学院が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 履修方法

1) 修士課程の修了の要件は、原則として2年以上在学して、別表-2の修了要件に伴い、必修及び選択科目を合わせて30単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。

別表-2 修了要件及び履修方法

	必修	選択	修了に必要な単位	備 考	
修了要件	基礎科目	2	—	2 単位	
	基本科目	—	18	18 単位以上	
	実践科目	—	2	2 単位	2 科目から 1 科目を選択必修
	研究科目	8	—	8 単位	
	合 計	10	20	30 単位以上	
履修方法	修了のためには、上記教育課程の授業科目から修了要件に従い、必修及び選択科目を合わせて30単位以上を修得し、研究指導を受けた上で、修士論文又は課題研究の審査及び最終試験に合格しなければならない。				

2) 研究科目を担当する教員を「指導教員」とし、授業科目の選択、論文の作成、研究一般についての指導を受ける。なお、①各種提出物については、締め切りを守り提出すること。②特別研究(8単位)は「デザイン発表会」・「中間発表会」・「論文/研究成果発表会」を含めて総合的に評価する。

3) 研究科目(栄養管理特別研究)は、別表-3(修士論文を履修・提出する場合)及び別表-4(課題研究を履修・提出する場合)のスケジュールにしたがって1年次から2年次にわたって進められる。